

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年11月17日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000070"/> 整理番号 <input type="text" value="11483"/> 担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>
表 題	<input type="text" value="ポルフィリン誘導体および放射線力学療法におけるその使用"/>
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/> <input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="医療"/>
適用製品	<input type="text" value="癌治療薬、癌診断薬"/>
目 的	<input type="text" value="本発明はポルフィリンやクロロフィル誘導体といった腫瘍集積性、光力学特性を放射線により引き出し、腫瘍の治療を行うものである。腫瘍集積性を示す上記化合物は、腫瘍の転移部位や位置・大きさを診断する画像診断用の薬剤として臨床応用されているが、付加されたヨウ素の吸収端の放射線を照射すれば、腫瘍細胞の増殖抑制・細胞死を誘導できる。すなわち本研究は深部の癌、転移巣の治療を提供することを目的とする。"/>
技術概要	<input type="text" value="光力学治療法Photodynamic therapy(PDT)とは腫瘍親和性のある光感受性物質を投与後、光を照射して一重項酸素を誘導し、腫瘍を破壊する治療でPhotofrin®などの光感受性物質が広く臨床応用されている。しかし、光感受性物質の吸収波長のピークが可視光線領域にあり深部病変に使用出来ない。そのため生体透過性を有するX線によるPDTの開発が望まれる。我々はPDT化合物にヨードや臭素を付加し、その元素のK吸収端に相当するエネルギーのX線を照射することにより発生するAuger電子を利用して増感効果(PAT)を得る放射線治療とPDT化合物によるPDT効果が誘導されることを期待した。すなわち、ヨウ素吸収端の単一波長のX線を用い、ヨウド付加PDT化合物を投与した腫瘍細胞が増殖抑制を示すことを見出し、新規抗癌治療を可能にすると考え、本発明をなすに至った。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いづれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな)	<input type="text"/>		
氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp